

形質転換植物デザイン研究拠点 令和5年度

成果報告会

日時：令和6年3月5日(火)～3月6日(水) 場所：筑波大学総合研究A棟 110室(公開講義室)

1日目【3月5日】13:30～17:40

13:30-13:40 開会あいさつ 福田 直也 (T-PIRCセンター長)

セッション1 座長 江面 浩

13:40-14:00

植物-微生物相互作用解析のためのプロモーターレポータートマト株の作出と整備に向けて
別役 重之【龍谷大学 農学部】

14:00-14:20

トウガラシの多心室果実変異体 $maf2$ の解析
田中義行【京都大学 農学研究科】

14:20-14:40

イネもみ枯細菌病抵抗性遺伝子 $RBG1$ の塩基配列情報を活用した
トマト青枯病抵抗性遺伝子の探索と検証
溝淵律子【農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究部門】

14:40-14:50 休憩

セッション2 座長 菊池 彰

14:50-15:10

イネが生産するジテルペン型ファイトアレキシンがもたらすチョウ目害虫抵抗性の解析
神田 恭和【農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門】

15:10-15:30

ヒト $UGT1$ 遺伝子の過剰発現がボブラ木部特性に与える影響
大谷 美沙都【東京大学 大学院 新領域創成科学研究科】

15:30-15:50

代謝改変によりL-DOPAを生産する植物の生理学的解析
朝比奈 雅志【帝京大学 理工学部 バイオサイエンス学科】

15:50-16:00 休憩

セッション3 座長 柴 博史

16:00-16:20

根粒共生遺伝子のイメージングを用いた窒素栄養による
根粒形成及び窒素固定抑制機構の解析
西田 帆那【農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門】

16:20-16:40

非典型BZR転写因子の分子機能の植物種間比較解析
古谷 朋之【立命館大学 生命科学部】

16:40-17:00

病原菌応答におけるトマトSYLKタンパク質
(SYNTAXIN 6-LIKE PROTEIN IN VASCULAR PLANT)の機能解明
植村 知博【お茶の水女子大学 基幹研究院】

17:00-17:20

植物近傍の温度変化がイチゴ果実への光合成産物の転流動態に及ぼす影響
三好 悠太【量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所】

17:20-17:40

ベトナム遺伝資源の利用(遺伝資源の取得と管理についての研究)
深見 克哉【九州大学 有体物管理センター】

2日目【3月6日】10:00～10:50

セッション4 座長 渡邊 和男

10:00-10:20

タマネギの麟茎肥大メカニズム解明に向けた形質転換系の確立
池田 裕樹【宇都宮大学 農学部附属農場】

10:20-10:40

植物病抵抗性遺伝子を有するジャガイモ野生種を利用したMESO培地作用メカニズムの
解明および物質の同定
牧 慎也【長岡技術科学大学 大学院】

10:40-10:50 閉会のあいさつ 柴 博史【T-PIRC副センター長】

事前参加登録不要

<https://gene.t-pirc.tsukuba.ac.jp>



つくば機能植物イノベーション研究センター
Tsukuba-Plant Innovation Research Center



筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
形質転換植物デザイン研究拠点